



富士山に のぼる

石川直樹作 教育画劇

気温がマイナス二十度にもなる冬の富士山。こおった雪の上をアイゼンをつけてゆっくりと、すこしずつ歩く。きこえてくるのは、足音と、じぶんの呼吸の音だけ。夜は町あかりのとどかない真っ暗な中、強い風にゆれるテントの中で眠る。そして、朝がきた。ふたたび頂上をめざす。一歩、また一歩、そのとき、頂上が見えた！ ついに、のぼりきった。はるか下に、ちいさく町が見えた。

七大陸最高峰登頂をはたしている冒険家の石川直樹さんが、富士山に登る様子を紹介した写真絵本。

